

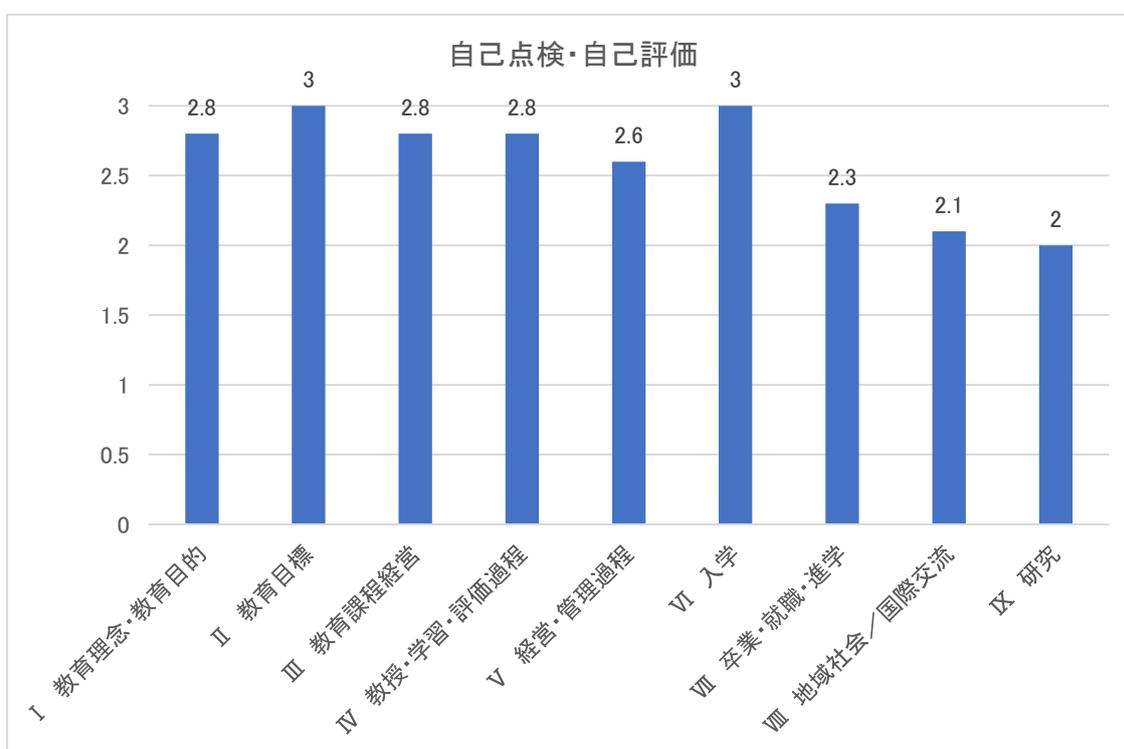
令和6年度 自己点検・自己評価 報告

本校の教育の改善を目指し、教育評価として、厚生労働省の「看護師等養成所自己点検・自己評価指針」に基づき、自己点検・自己評価を実施しましたので、報告します。

令和6年8月に実施

カテゴリー	項目数	評価
I 教育理念・教育目的	5	2.8
II 教育目標	5	3.0
III 教育課程経営	14	2.8
IV 教授・学習・評価過程	12	2.8
V 経営・管理過程	14	2.6
VI 入学	2	3.0
VII 卒業・就職・進学	4	2.3
VIII 地域社会／国際交流	7	2.1
IX 研究	3	2.0

〔評価基準〕 3 よく当てはまる 2 大体当てはまる 1 当てはまらない



自己点検・自己評価の概要

カテゴリー	
I 教育理念・教育目的	<p>本校は関係する法律を遵守し平成 19 年に開校した。令和 4 年度からの新カリキュラム改正にあたり県からの承認を得ている。建学の精神、教育理念、教育目的等は学校要覧に明記し、保護者会や入学時オリエンテーションで保護者及び学生に説明している。</p> <p>また、学びを支援するための学習環境について、講師の選定、施設の整備、教材・備品の整備を行っている。</p> <p>令和 6 年度卒業時アンケート結果では、理念や目的を理解していない学生がおり、学生に理解できるようにしていきたい。</p>
II 教育目標	<p>令和 4 年度からの新カリキュラム改正にあたり、ディプロマポリシーを明記した。</p> <p>教育目標は教育理念・教育目的と一貫したものとなっており、教育目標に沿って、各学年の到達目標を学校要覧に明記している。</p> <p>令和 6 年度卒業時アンケート結果では、ほとんどの学生が教育目標に到達したと回答した（「大体当てはまる」、「よくあてはまる」）</p> <p>令和 7 年度は、就職先にアンケートを依頼する。</p>
III 教育課程経営	<p>各分野や各領域の考え方は、学校要覧に明記している。段階的に履修できるよう、科目の配列は意図的に配置した。</p> <p>履修や成績評価については規程を設けている。</p> <p>授業評価は終講試験ごとに行っているが、教育課程の評価をどのように行うかについて、今後検討していく。</p> <p>専任教員の担当時間数は調整し、各自が自己研鑽できるよう、セミナー等の紹介を行い、必要に応じて研修を受けられるようにしている。教員の相互研鑽を保障するシステムはない。</p> <p>実習においては、教員と指導者の役割を明記し、情報交換を密にしながら連携して指導にあたっている。</p> <p>患者のプライバシーの保証に関して、個人情報に関する規程や実習オリエンテーションに明記し、説明している。</p> <p>臨地実習における安全対策として、医療事故に関する規程やヒヤリ・ハット報告について明記している。</p>
IV 教授・学習・評価過程	<p>教授内容、方法、評価についてはシラバスに明記している。</p> <p>履修形態については、内容により講義や演習、実習を選択している。</p> <p>看護技術チェックは教員が協力して行っている。</p> <p>グーグルクラスルームで講義資料を配信したり、課題を提出したり、実習記録用紙を入力して提出できるようにしたり、など ICT を活用している。</p> <p>各教員が教材研究を行い、学生の主体性を育みながら、理解を深められるよう、工夫した授業を展開している。</p> <p>終講試験ごとに授業評価を行い、講師にフィードバックしている。</p>

V 経営・管理過程	<p>本校の組織体制と意思決定システム（委員会）、職務分掌は明記されている。</p> <p>財政基盤については、病院附属の看護専門学校ということもあり、病院で管理されている。</p> <p>施設設備、備品については、経済面も考慮しながら、整備計画を立て実施している。</p> <p>全般的な学生生活の支援、学修継続への支援については学生便覧に明記し、個別に相談に乗っている。また、臨床心理士による学生相談も行っている。国家試験合格のための支援は1年時から、就職活動に関する支援は2年時から行っている。</p> <p>毎年、自己点検・自己評価を行い、公開していく。</p> <p>第三者評価を取り入れていく。</p>
VI 入学	<p>入試委員会で検討し、入試を実施している。委員や職員は守秘義務を徹底し、不公平が起らないよう管理している。</p> <p>社会人入試は実施しているが、高校生人口の減少、大学進学率の上昇に伴い、志願者の確保の検討を行っている。</p>
VII 卒業・就職・進学	<p>令和6年度の国家試験の合格率は100%（全国90.1%）であった。</p> <p>2年時に外部講師による、履歴書の書き方面接の受け方、小論文の書き方の講座を実施した。就職は希望に沿って支援し100%であった。しかし、推薦入試や社会人入試で入学した学生が県外へ就職している現状がある。</p> <p>令和6年度の県内就職は92.1%、県外就職は7.8%であった （県内35人県外3人）</p> <p>卒業後の活動状況は把握できていない。</p>
VIII 地域社会／国際交流	<p>学校行事として、看護の日には学校周辺から病院の車いすなどの清掃活動を行った。学校祭では、健康コーナーを設け啓発活動を行っている。フィールドワークを取り入れた科目があり、地域支援実習においても地域の資源を活用している。</p> <p>国際交流については、インターネットで情報収集できるが、卒後の海外での学習や就労に対しての情報を提供できる体制は整えていない。帰国学生や留学生の受け入れは、日本語が可能な者に限られる。</p>
IX 研究	<p>病院には研究支援体制がある。</p> <p>教員は実習指導等で外に出ていることが多く、研究を行うゆとりや時間が取れないこともあり、積極的に進めることができていない。</p>